

4 部活動改革(部活動の地域移行)について

部活動は、子どもたちにとって教育的な意義のある貴重な機会ですが、少子化に伴う生徒数の減少により、今の部活動を維持することが難しくなっています。

また、部活動の指導が教員の長時間勤務の要因の一つとなっています。

国の有識者会議の提言では、中学校の部活動の実施主体を学校から地域のスポーツ団体等へ移すための方向性や、まずは土日の部活動から段階的に地域移行することなどが示されました。

今後、道で新たに策定する推進計画等に反映させることを目的として、おたずねするものです。



問1 中学校の部活動に求めるものとして、あなたの考えに近いものはどれですか。

次の中から2つまでお選びください。

- 1 大会やコンクールなどでよい成績をとること
- 2 体力や技能などを向上させること
- 3 豊かな人間性を育み、自己肯定感を高めること
- 4 好ましい人間関係を築くこと
- 5 スポーツや文化に親しみ、楽しむこと
- 6 興味に応じて複数の種目を経験すること
- 7 その他(具体的に: _____)

問2 部活動の地域移行を進めることとした場合、重視すべきことはどれですか。

次の中から1つだけお選びください。

- 1 少子化の中でも、生徒がスポーツ・文化に親しむ機会を確保すること
- 2 スポーツ・文化の裾野の拡大
- 3 教員が授業準備など本来業務に専念できること
- 4 スポーツ・文化のまちづくり
- 5 その他(具体的に: _____)

問3 地元へ地域移行後の受け皿となる団体がない場合など、どう対処したら良いと思いますか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 関係者で受け皿になる団体の設置を検討する
- 2 外部から指導者を招き、市町村内で指導を受けられるようにする
- 3 近隣の市町村で中学生が活動できるよう検討する
- 4 わからない
- 5 その他（具体的に： _____)

問4 少子化に伴う生徒数の減少によって、今の部活動を維持することが難しくなっており、また、部活動が中学校の教員の長時間勤務の要因の一つとなっています。
その解消のためにどう対処したらよいと思いますか。
次の中から2つまでお選びください。

- 1 土日ははじめ、教員が部活動を指導しなくてもよい日設ける
- 2 部活動の種目数、活動日数や時間を減らす
- 3 部活動は地域の団体や民間企業が指導し、教員は授業準備など本来業務に専念する
- 4 わからない
- 5 その他（具体的に： _____)

5 生物多様性の取組について

北海道の優れた自然環境は、暮らしを支え農林水産業や観光業の基盤にもなっています。その重要な構成要素である野生動植物には様々な種類があり、それらが直接的・間接的に関わり合いながら生きていることを「生物多様性」といいます。

それらがもたらす恵みを将来にわたり享受していくためには、道民ひとり一人の意識や日常生活での取組が重要です。

この「生物多様性」に対する道民の皆様の関心や考え方などを把握し、今後の施策に反映させることを目的として、おたずねするものです。



問1 あなたは「生物多様性」という言葉をどの程度ご存じですか。

次の中から1つだけお選びください。

- 1 言葉の意味を知っている
- 2 言葉の意味をある程度知っている
- 3 言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがある
- 4 言葉の意味も知らないし、聞いたこともない

問2 私たちの暮らしは、生物多様性がもたらす多くの恵みに支えられています。

この恵みを「生態系サービス」と呼びます。次の5つは、主な生態系サービスの例です。

このうち、あなたが重要と考えるのはどの生態系サービスですか。

次の中からいくつでもお選びください。なお、該当がなければ無記入としてください。

- 1 各地域で獲れる特色ある魚介類・海藻類・山菜・キノコ・シカ肉
- 2 森林や湿地が、雨水を受け止めゆっくり流したり、水を浄化したり、土砂流出を防ぐ機能
- 3 植物が二酸化炭素を吸収し酸素を作り出したり、気候を調整する機能
- 4 季節毎に観光の対象となっている自然公園や景勝地
- 5 地域毎に特色ある野生動植物の生息・生育環境

問3 現在、地球上のさまざまな動植物やそれらが生息・生育できる環境を守る「生物多様性保全の取組」が進められていますが、あなたは、このことについてどのようにお考えでしょうか。次の中から1つだけお選びください。

- 1 人間の生活がある程度制約されても、多種多様な動植物が存続できる環境の保全を優先する
- 2 人間の生活が制約されない程度に、多種多様な動植物が存続できる環境の保全を進める
- 3 人間の生活の豊かさや便利さを確保するためには、多種多様な動植物が存続できる環境が失われてもやむを得ない
- 4 取組には全く興味がない

問4 あなたは、自然とふれあう機会をどの程度お持ちですか。次の中から1つだけお選びください。

- 1 常にふれあう機会がある
- 2 ある程度ふれあう機会がある
- 3 ほとんどふれあう機会がない
- 4 ふれあいたくない

問5 あなたは、生物多様性に配慮したことが明記された商品が販売されていた場合、購入したいと思いますか。次の中から1つだけお選びください。

- 1 たとえ値段が高くても、積極的に購入したいと思う
- 2 値段が安ければ、積極的に購入したいと思う
- 3 値段が安ければ、購入することもあると思う
- 4 値段に関係なく、誰かに勧められれば購入することもあると思う
- 5 値段に関係なく、購入したいとは思わない

6 信号機のない横断歩道の交通安全について

令和3年中、道内での人と車両の衝突による交通事故の死者は40人でしたが、そのうち横断歩道での死者が最多の16人と4割を占めました。

そこで、信号機のない横断歩道に関する運転者・歩行者それぞれの意識を調査し、今後の交通安全教育に役立てることを目的として、おたずねするものです。



問1 信号機のない横断歩道を歩いて渡ろうとしているときに車が来て、次の状況になったことや見たことはありますか。

次の中から1つだけお選びください。

- 1 車が一時停止したので、渡ることができた
- 2 車が一時停止せず、通過するまで渡れなかった
- 3 車が一時停止せず、衝突しそうになった
- 4 クラクションを鳴らされたり、罵声を浴びせられたりした
- 5 そのような状況になったことや見たことがない

問2 信号機のない横断歩道を渡ろうとする歩行者がいるのに、車が一時停止しない理由として何が考えられますか。

次の中から1つだけお選びください。

- 1 1台だけ止まってもほかの車が止まらないから
- 2 一時停止するとほかの車に迷惑がかかる（追突される）と思うから
- 3 一時停止が面倒だから
- 4 法律で、一時停止（歩行者優先）と決められていることを知らないから
- 5 その他（具体的に： _____）



ほくとくん(道警ツボルマスコット)

7 薬物乱用の防止について

昨今、大麻を中心とした違法薬物が若年層にまん延しており、検挙された者の中には、「健康被害はたばこより低い」、「格好がよい」などの誤った認識を持つ者が少なくありません。

大麻をはじめとする違法薬物の危険性（有害性）を正しく理解してもらう啓発活動を推進することを目的として、おたずねするものです。



問1 覚醒剤や大麻などの違法薬物についてどのようなイメージをお持ちですか。

次の中から1つだけお選びください。

- 1 絶対に使ってはいけないと思う
- 2 犯罪に巻き込まれると思う
- 3 法律で禁止されていなければ一度くらい使ってみたいと思う
- 4 使うも使わぬも個人の自由だと思う
- 5 ドラッグはファッションの一部だと思う
- 6 非常に興味がある
- 7 その他（具体的に： _____）

問2 違法薬物の知識やイメージを得た情報源は何ですか。

次の中から1つだけお選びください。

- 1 テレビ、ラジオ、新聞
- 2 インターネット（SNS、配信動画、各種サイトなど）
- 3 書籍、雑誌
- 4 職場、学校
- 5 知人、友人
- 6 その他（具体的に： _____）

問3 違法薬物について知っておきたいことは何ですか。

次の中から1つだけお選びください。

- 1 違法薬物の種類や身体へ与える影響
- 2 薬物乱用者が起こした事件・事故
- 3 薬物乱用による健康被害
- 4 違法薬物に関する相談窓口
- 5 特にない

8 最後に、あなたご自身のことについてお聞きします。

おたずねした結果を統計的に分析するため、あなたご自身のことについて、教えてください。
※質問項目は個人を特定するものではありません。

I あなたの性別をお答えください。

- 1 男性 2 女性 3 回答しない

II あなたは現在、おいくつですか。

- 1 18～29 歳 3 40～49 歳 5 60～69 歳
2 30～39 歳 4 50～59 歳 6 70 歳以上

III あなたの主な職種は何ですか。

次の中から1つだけお選びください。

- 1 自営業 (農林漁業及びその家族従事者)
2 自営業 (商工サービス及びその家族従事者)
3 自由業 (専門的な知識や才能に基づく職業への従事者で、雇用関係から独立した職業分野 (開業医、弁護士、芸術家など))
4 事務職系 (一般事務、教員、看護師、技術者など)
5 労務職系 (技能員、販売員、セールス外交員など)
6 主婦・主夫
7 学生
8 無職

IV あなたのお住まいの市町村はどの地域ですか。

次の中から1つだけお選びください。

- 1 道 央 (石狩振興局、空知総合振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局)
2 道 南 (渡島総合振興局、檜山振興局)
3 道 北 (上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局)
4 オホーツク (オホーツク総合振興局)
5 十 勝 (十勝総合振興局)
6 釧路・根室 (釧路総合振興局、根室振興局)

↑この線で三つ折りして
返信用封筒に入れてください

【ご協力ありがとうございました】

三つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて

9月21日(水)までに

郵便ポストに投函してください。(切手不要)

※スマートフォン等で回答する場合は郵送による回答は不要です。

↑この線で三つ折りして
返信用封筒に入れてください

《 問い合わせ先 》 北海道 総合政策部 知事室 広報広聴課 調整係
住所 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
電話 011-231-4111(内線 21-352)